

東大和ウォーキングマップ

(多摩湖編)



このマップは、東大和市の自然や文化財に親しみながら、街づくりを見ていただけるように作成したものです。姉妹編の「郷土博物館編」は多摩モノレール上北台駅に、「野火止用水編」は西武拝島線東大和市駅に、「桜が丘編」は多摩モノレール玉川上水駅にありますのでご利用ください。
※ウォーキングの際には、体調管理、安全に充分ご注意ください。

(問い合わせ)
 東大和市
 まちづくり部都市づくり課
 TEL042-563-2111
 内線(1257)

多摩湖(村山貯水池) **7** 多摩湖橋と上貯水池 **8** 多摩湖(下貯水池) **9** 多摩湖サイクリングロード

東大和市のシンボルとも言える、狭山丘陵の谷をせきとめて造られた湖です。真ん中にえん堤をはさんで上貯水池と下貯水池に分かれ、面積は周辺部を含むと市域の約4分の1を占めています。

東京都民の水がめとして多摩川の水を貯水しており、浄水場へ水を送るための特徴ある姿の取水塔があります。大正5(1916)年に着工しましたが、工事は人力が主であったため、昭和2(1927)年の完成まで、10年以上の歳月がかかりました。

建設当時、谷沿いには7つの集落がありました。人々は田畑を耕し、のどかに暮らしていましたが、住みなれた地からの移転を余儀なくされました。上えん堤上の北



に移転した慶性門は、現在の芋窪6丁目に移転した「慶性院」の山門で、多摩湖の湖底に沈んだ村々の唯一の建造物として、当時を偲ぶ姿を残し保存されています。

新東京百景(昭和57年制定)や東やまと20景(平成2年制定)にも選ばれ、お花見・新緑・紅葉・雪景色と、四季を通じて人々に親しまれています。

また、周囲には多摩湖自転車道が整備され、快適なサイクリングが楽しめます。えん堤上の通路から、天気の良い日にはスカイツリーを見ることができます。



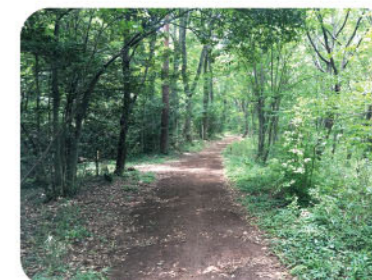
1 円乗院(東やまと20景)

武蔵野三十三観音霊場の第八番札所(東大和市文化財)となっています。過去の火災で、創建当時の記録は残っていませんが、寺院内にある市内最古の板碑は鎌倉時代のものです。都立東大和公園に隣接し、山門と美しい庭園がやすらぎを与えてくれる静かな寺院です。



2 都立東大和公園(東やまと20景)

狭山丘陵の東側の一角を占め、東京で最初の丘陵地公園として昭和54(1979)年に開園されました。起伏に富み、コナラ、アカマツを主体とする雑木林で覆われ、約20ヘクタールもの広さがあります。東側と南側には保存指定された樹林があります。住宅地のすぐそばにあるのに、深山へ踏み入ったような印象があり、静かな安らぎを与えてくれる場所です。



3 市立二ツ池公園(東やまと20景)

都立東大和公園の西側に接する、面積約3,000㎡の公園です。二ツ池は前川の源流部で、昭和30年代までは、周辺に広がっていた「狭山たんぼ」をきれいな水が潤していました。水田は住宅地へ姿を変え、二ツ池も昭和53(1978)年、公園として生まれ変わりました。

池の中央には、一風変わったモニュメント「ごはん塚」が浮かんでいます。



4 雲性寺(東やまと20景)

永享11(1439)年の創建という言い伝えがあります。狭山三十三観音霊場の第十八番札所(東大和市指定文化財)となっているほか、山門の下には、新青梅街道拡張工事の際に奈良橋庚申塚から移設した庚申塔や、馬頭観音があります。また、本堂には、「阿字庚申」(東大和市指定文化財)と呼ばれる珍しい庚申塔もあります。



5 八幡神社(東やまと20景)

言い伝えでは江戸時代以前に社殿が建てられていたそうです。明治6(1873)年に奈良橋村の村社となり、現在の拝殿は昭和7(1932)年に建てられました。

神社のある尾根には、縄文時代中期(約5000年前)の村の跡である八幡谷戸遺跡も見つかりました。



6 市立狭山緑地(東やまと20景)

狭山丘陵の一角を占める緑地で、約14.5ヘクタールの広大な土地の中に、自然を生かした木道や園路が、約1,500メートルにわたり整備され、四季を感じながら散策できるようになっています。

また、幼児から遊べる遊具も備えたフィールドアスレチックもあり、休日には家族連れなどでにぎわっています。



☆コースで見られるモニュメント(東大和市美術工芸品)☆

市内に伝わる「よもやま話」などを主なテーマとして、市内全域に27体のモニュメントがあります。このコースでは6体が見られます。

清水神社「清水囃子」

清水囃子は幕末に始まったそうです。練習場所は清水神社境内にあった公会堂でした。清水神社の森に笛や太鼓の音が響きました。現在も清水囃子は引き継がれ、祭礼や市の催し等で演じられています。



郷土博物館前「いのしし」

狭山丘陵には昔、いのししが多く、畑の作物が荒らされて、村の人達はたいそう困ったそうです。



湖畔第一緑地「つちんど」

頭が槌の形をした大蛇「つちんど」をイメージしたモニュメントです。多摩湖に沈んだ槌ヶ窪の池に棲んでいたといわれています。



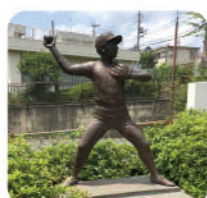
多摩湖・展望公園内「木綿餅」

昔、東大和市では機織が盛んでした。藍染の木綿餅がほとんどで、江戸の頃から、明治、大正となるにつれて生産が増えました。その後、時代の流れとともに人々が洋服を着るようになると需要が減り、次第に織られなくなりました。



狭山公民館「野球少年」

明治初期、学制の公布によりこの地に小学校ができました。子供たちは、当時はまだはしりのスポーツであった野球に目を輝かせていました。



二ツ池公園・池の中「ごはん塚」

昔、新田義貞が鎌倉攻めの際、この付近に陣を布き、ごはんを炊いたそうです。軍勢がごはんを食べた山は「ごはん塚」といわれたそうです。



◆モニュメントマップは下記二次元コードから



水の精像(日本初の女子フルマラソン大会開催の記念碑)

昭和53(1978)年4月16日、多摩湖畔を3周するコースで日本初と言われる女子マラソン大会が行われました。日本女子マラソン界の原点であり、歴史を後世に伝えるため、記念碑を建立しました。

